

今こそ連帯 今こそ団結

CU 東京第 18 回定期大会開催



CU東京第18回大会会場

CU 東京第 18 回定期大会「締め」の団結ガンバロウ！（2026 年 6 月 27 日）

.....

6 月 27 日（土）、コミュニティユニオン東京第 18 回定期大会は、台風接近のため開催方法を変更し、時間を短縮してオンライン併用で行われました。リアル会場は東京労働会館 7 階ラパスホール、オンラインは Zoom を使用しました。

伊東弘子副委員長の司会で大会は開会しました。伊東さんは「今世界中で、戦争への道か平和の構築かのせめぎあいが続いている。高市政権下においてももしかりだが、この危機的な状況を打開するため、職場や地域で新



たなムーブメントが起きている」とし、「国民を対立させ、分断を持ち込んで政策を実現させようとしていることに屈することなく、私たちは今こそ団結するとき」「働き方や暮らし、平和とジェンダー平等、生命を守るため、私達の運動の大切さを確認し、共に大きな運動を広げるための大会に」とあいさつしました。

議長団には、江東支部（地域労組こうとう）の山下春樹代議員と三多摩地本の梅田浩正代議員が選出され、議事が進行しました。

●委員長あいさつ

佐藤義見執行委員長は、台風到来のなかでの会場参加、急な開催方法の変更にも対応したオンライ

ン参加の組合員を労いながら、18年目をむかえたCU東京の今大会の意義を述べました。

25年度は非常に労働相談件数が多く、15支部すべてで相談活動を行い、450件を超える相談に支部・本部の組合員が連日奮闘してきたことの成果を話しました。また「この大会の大きな目的である『規約改正、共済制度の充実』、この点を数ヵ月かけて取り組んできた。この間の執行委員会でもその都度議論をし、(各支部に)報告をしてご議論いただき、大会議案となった。18年経っているので、しっかりと規約や共済制度を充実させ、さらに3000名を目指して奮闘したい」とし、第18回大会への期待を示しました。



●来賓あいさつ

来賓の大山とも子都議会議員がリアル参加され、CUが「一人ひとりの力が集まって、大きな力になっていく」組織であることに着目し、「一緒にがんばりたい」と共感を寄せてくれました。

また、当日来場予定であった全国労働組合総連合(全労連)事務局次長 竹下武さん、東京地方労働組合協議会(東京地評)事務局長 井澤智さんには当日の開催方法変更によりご辞退申し上げました。東京地評からはメッセージが寄せられました(メッセージは16団体よりいただきました。ありがとうございました)。

●議案の提案



白滝誠書記長の基調報告では、最低賃金引き上げ運動や労働相談活動、各種労働争議への取り組み、組織拡大の成果が報告されました。相談件数の増加や若年層・ケア労働者への組織化、支部拡大、SNS・YouTubeを活用した広報強化などが今後の重点課題として提案されました。

規約改定・共済制度改定では、概要が書記長報告で述べられたのち、まず高畠素昭副委員長が規約改定案について詳細を提案しました。本部執行委員の選出方法の整理、組合員区分の明確化、70歳以上の組合費制度の見直し、共済運営委員会の新設などが提案されました。



再び白滝書記長より、共済制度改定について、70歳以上の組合員も入院共済へ加入可能とすること、新たな住宅災害見舞金制度の導入、精神疾患や同性婚・事実婚への対応など、制度のアップデートが提案されました。

寺川知子副委員長による決算報告・予算案提案では、財政は概ね健全に推移していることが報告され、活動者交流会開催やPC更新などを含む2026年度予算案が示されました。なお、2025年度決算報告については菊池友里会計監査より監査報告がなされました。



●特別報告(発言要旨)

女性会議特別報告 (新木輝代執行委員)



CU東京各支部には多くの女性組合員がいる。女性会議は組合員を一人ぼっちにしないよう活躍の場を広げたいと活動している。ランチミーティングや見学・学習、ジェンダー問題やケア

労働者の交流の集いを行ってきた。5月31日の第2回総会の討論では、ケア職場に共通する課題として「感情労働」が話題となり、人の命や暮らし、尊厳を支えるケア労働者は、高い専門性と責任を伴うのににもかかわらず長年女性の役割とされ、女だからできる・女だからやるべき、というような形で過小評価されてきた。生涯で1億円に上る男女賃金格差やジェンダーギャップ指数118位が今の日本の現状だ。高市早苗総理は古い家父長思想に浸かって暮らしや福祉、差別撤廃よりも軍拡へ戦争へと突き進んでいる。しかし、全国各地そして様々な女性団体は負けてはいない。すべての差別撤廃や平和を守る歩みを豊かに幅広く進めている。CUの組合員は、それらの活動に幅広く参加し、草の根で活躍している。女性会議の諸活動への取り組みへの各支部のご協力、ご支援を訴える。

青年部特別報告 (千保法之特別執行委員)



昨年11月の泊まり込み(活動者会議)に参加した。この間、青年部の立ち上げと、青年の横のつながりを強化していきたいとして、今夏に青年交流会という催しを行う方向となった。日時は7月25日(土)19時からを予

定。都内で、みなさんが参加しやすい場所を検討中だ。第1回目なので、青年の横のつながりを中心に、と考えている。各支部の青年の方々にぜひ参加してほしい。広報宣伝に関連し、青年を中心に、SNS 強化をしていきたい。YouTube や X(エックス)など、SNS を通して CU のとりくみを広く知ってもらうことに取り組んでいる。

● 討論（発言要旨）

◇ 質疑

・佐々木早苗代議員（文京支部）

議案書 17 頁：「本部執行委員の選出と選挙」について

質問①「執行委員は推薦母体を各支部とし、それを選挙区とします」とあるが、女性会議、青年会議や直属などはどのように選ばれているのか。

規約改定案の提案と採決時期に関して

質問②各支部討議はあったのか。今大会での提案を受け支部討議し、来年の大会で採決と認識していた。2026 年度予算案について

質問③11 月の交流会の 50 万円について、交流は大事だと思うがどういう形を考えてここまで予算をかけるのか。

★本部答弁

質問①について：支部の推薦以外の役員は、特別執行委員としている。CU 東京の組合員はさまざまな会議に参加する権利があり、特別執行委員という位置づけでなくとも、青年部、女性会議などに執行部から参加要請をする、あるいは青年部、女性会議などからの希望で参加してもらうこともある。ただし、特別執行委員も含め、議決権はない。直属は直属支部を指し、各地域支部に移る前の、CU 東京に加入するうえで必要な仮の所属の場。

質問②について：規約規程改定、共済制度改定は 1 月から本部執行委員会で議論を重ね、支部討議をお願いしている。5 月の末には大会議案全体と規約規程、共済制度の改定案を、本日配布のものとほぼ同じものを支部に送付している。いくつかの支部からは、本部執行委員会に支部で議論した意見や質問も届いており、それらを踏まえての本日の提案である。

質問③について：交流会は、去年は1泊・40人規模で50数万円。24 年度は 60 人ほどの規模で 2 回開いた。今年は、宿泊無し・参加者100人と規模を拡大。役員だけではなく組合員も参加して大いに組合を語り、仲間の連帯強化をしていく狙いだ。

◇ 補強報告・経験報告

・岩淵美和子代議員（港支部）

2019年に港区の民間病院に看護部長として1年ごとの有期雇用で入職し、2024 年、明確な合理的理由もないままに雇い止めになった。現在、雇い止め撤回と労働契約法 18 条に基づく無期転換ルールの適用を求め、東京地裁で裁判を続け、今年で提訴から丸2年になる。この裁判を通して、私は権利を守るとは自分の尊厳を守ることだと学んだ。「有期雇用だから仕方がない」「契約社員だから声を上げられない」そう思っている仲間に伝えたい。「法律は使っている。労働組合を頼っている。あなたの尊厳は守られるべきものなのだ」と。権利を知ることは、自分一人を守るためではなく、仲間を守り、職場を変え、社会を変える力になる。私はこれからもこの経験を働く仲間の尊厳を守るために生かしていきたい。そして、誰もが安心して「私はここで働いている」と思える社会を、みなさんと一緒に作ってきたい。

・小川いずみ代議員（葛飾支部）



『こみゅーと』196号に「JAXA で働く戸川さんの『労災不支給撤回裁判（パワハラ他）』の傍聴支援案内がある。戸川さんは、長時間労働、および上司からのパワーハラスメントで体調を崩し、長期の休職を余儀なくされた。一人で産業医や人事担当者と闘いながら職場復帰は果たしたが、労災保険は不支給となった。不支給決定の撤回などを求め裁判で闘う戸川さんを支援する会にぜひ入会を。今後署名にもとりくむので協力をお願いしたい。

・中村裕次代議員（中野支部）

青年部の仲間と SNS 強化の検討を始めている。まだ YouTube 投稿を1つしただけだが、一歩ずつ、できるところから開始している。CU 東京をもっとバズらせたい。まずは CU 東京 YouTube チャンネルのシェアを。次に動画を「全部再生」する（動画の終わりまで再生・視聴すること）。動画の滞在率が全体的に高いと、「おすすめ」にのる。それが繰り返されると、もっと見てもらえる人が多くなり、CU 東京の会員数もきっと倍増する。そうした未来も可能性としてある。みなさんの協力をお願いしたい。第 1 回の青年部の集ま



りだが、「参加すると自分の仕事が増えてしまうのでは？」といった先入観があるかもしれない。そういったものは一切ないので、ぜひ参加を。

・渡邊信嗣代議員(農民連分会)



昨年の大会で紹介した、吉川さんへの退職強要に抗する闘いは、CU のみなさんのご支援、全国の支援もあって、ようやく解決の光が見えてきた。頑なだった農民連執行部が態度を変え、状況が動いた。この争議を契機として私たちが職場の問題を解決しようとした分会についても、「労働組合ではない」と団体交渉に応じなかったが、体制が変わり、今年初めて団交を開かせることができた。団交は 2 回行われ、就業規則も決めさせて、施行するところまで漕ぎつけた。他者の権利を守るはずの運動をやっている人間が、自分のところで働いている人達の権利を守らないという悲しい現実を少しでも変えていきたい。

● 討論のまとめ、採決・承認、閉会へ

討論のまとめとして白滝書記長は「有意義な討論だった。女性会議の特別報告や青年部とウェブ対策チームの始動。岩渕さんの無期転換ルール適用直前での雇止めを覆す大きな経験は、有期雇用で働くすべての方たちへの希望となる経験到達だった。これこそが労働組合運動の真髄だ。この経験を大いに広げていくことが私たちの役目だ。新たに JAXA という日本一大きな機構——科学者集団の場でもこういうことが起きている。戸川さんの支援も広げていきたい。そして農民連分会。民主的な団体こそいろいろ大変なことがある。しかし粘り強い運動で前進を勝ち取りつつあるという局面での報告だった。これも、CU 東京 1900 人近く、2000 人に近い組織があればこそこの運動の到達だ。みなさんとの連帯・団結をより一層強めていきたい」と述べ、各議案(「2025 年度経過報告、2026 年度運動方針案」「規約規程改定・共済制度改定」「決算報告・予算案」「役員体制」「ストライキ権の確立」)はいずれも承認されました。

大会のメインスローガンとして「全都 1900 人組織を足掛かりに、未来への展望を開く 3000 人の CU 東京実現へ向けて団結しよう」が確認され、第 18 回定期大会の議事は終了しました。

その後、新旧役員の紹介・あいさつ、特別決議「戦争に反対、憲法を守り、平和な日本を構築するため

に力を合わせて行動しよう」の採択が行われ、閉会のあいさつとして、中村元副委員長が今後の最低賃金引き上げ運動や労働条件改善、組織拡大への決意を述べたのち、佐藤委員長の「団結がんばろう」で大会を締めくくりました。

大会参加は代議員 34 名(内オンライン 16 名)、執行委員・来賓ほか 33 名(内オンライン 10 名)、合計 67 名でした。

2026 年度 CU 東京役員

執行委員長	佐藤義見	三多摩地本
副執行委員長	中村 元	地域労組こうとう
同	岩渕美和子	港支部
同	高畠素昭	練馬支部
同	伊東弘子	文京支部
同	寺川知子	三多摩地本
同	砂川 恵	東京土建
書記長	白滝 誠	台東支部
書記次長	岩田輝幸	中野支部
執行委員	清水英明	地域労組こうとう
同	田辺陽子	地域労組こうとう
同	高島章寿	足立支部
同	新木輝代	江戸川支部
同	高橋 孝	港支部
同	鈴木明彦	千代田支部
同	内田 浩	千代田支部
同	佐藤盛雄	品川支部
同	松崎由美子	豊島支部
同	伊藤 弘	文京支部
同	桑原研二	練馬支部
同	伊藤栄江	渋谷支部
同	井上敬亮	渋谷支部
同	小川いずみ	葛飾支部
同	板垣寿一	中野支部
同	山田三平	台東支部
同	宮田清志	三多摩地本
同	大江拓実	三多摩地本
同	前澤 檀	直属支部
同	熊谷由紀枝	直属支部
特別執行委員	松永光明	北準備
同	千保法之	葛飾支部
会計監査	菊池友里	地域労組こうとう
同	御崎誠人	港支部

- ★2026 年 8 月 1 日以降の加入者は改定規約に基づく組合員種別・共済制度が適用されます。
- ★2026 年 7 月 31 日までに加入している 70 歳以上組合員、協力組合員の方には 8 月下旬頃に移行の意思確認の書類を送付します。